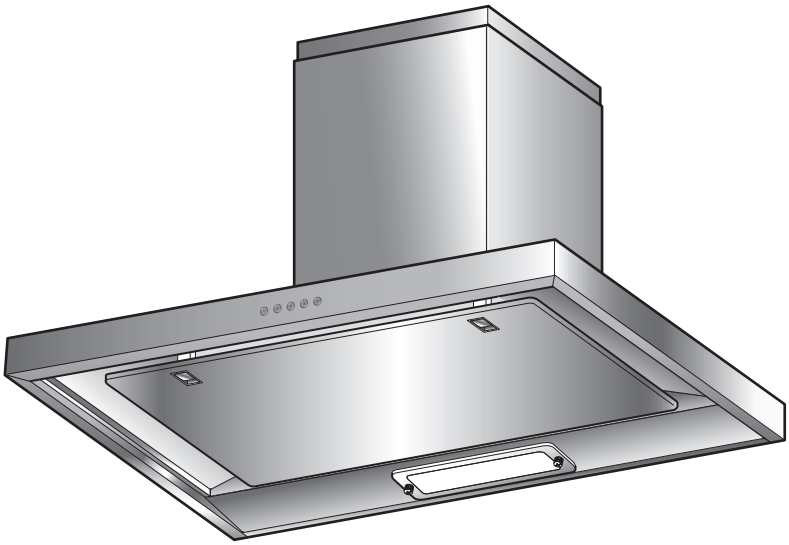
レンジフードファン　取扱説明書



もくじ

安全上のご注意 ..... 2～3
使用上のお願い 4
使いかた 6
　各部のなまえ 6
　ご使用前に 6
　操作スイッチ 6
お手入れのしかた ..... 7～13
　分解・組み立てのしかた ..... 8～9
　ファンのお手入れのしかた ..... 11～12
　ランプ交換のしかた 13
故障かなと思ったら 14
仕様 15
アフターサービス 15
修理を依頼されるときは 16

販売店・工事店様へ：
この取扱説明書は施工後、
施主様へ必ずお渡しください。

このたびはレンジフードをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは取付説明書とともに大切に保管してください。

この説明書は再生紙を使用しています。

BET 1802 R381

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告：**人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**

⚠ 注意：**人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。**

絵表示の例

⃠ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

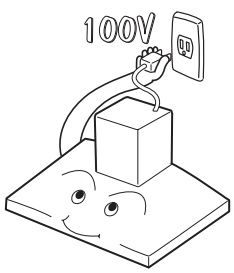
⚠ 警　告

● **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しないこと**
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

分解・修理改造禁止

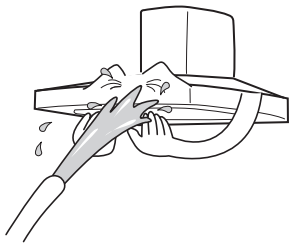
● **交流１００Ｖ以外では使用しないこと**
火災の原因になります。

使用禁止



● **電気部品は、水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしないこと**
発火したり感電することがあります。

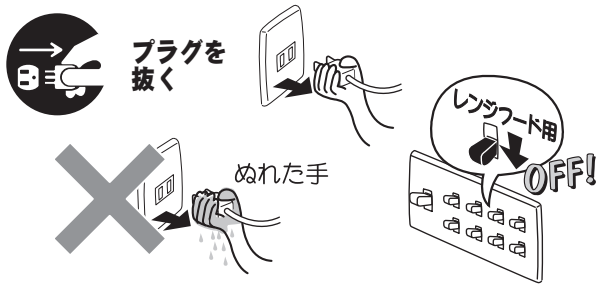
水かけ禁止



安全上のご注意

⚠ 警　告

● **お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフード専用のブレーカーを下げる（電源を切る）こと**
また、ぬれた手で抜き差し、入／切しないこと
感電やけがをすることがあります。

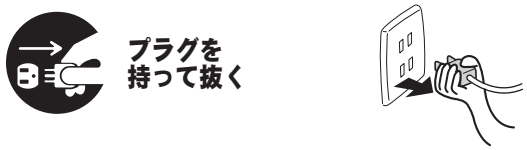


● **ガス漏れのとき、スイッチを入／切しないこと**
ガス爆発の原因になります。

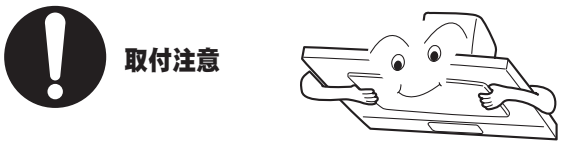
● **電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと**
火災の原因になります。

⚠ 注　意

● **電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと**
コードに傷がつき、火災や感電の原因になります。

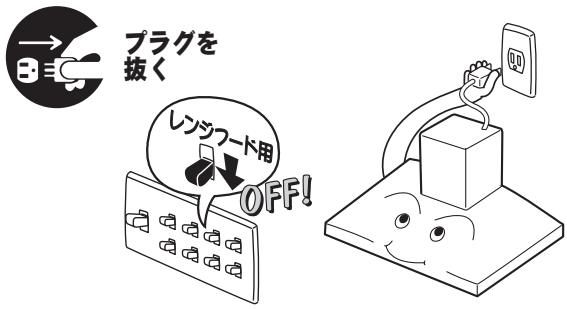


● **羽根や部品の取り付けは確実に行うこと**
落下によりけがをすることがあります。

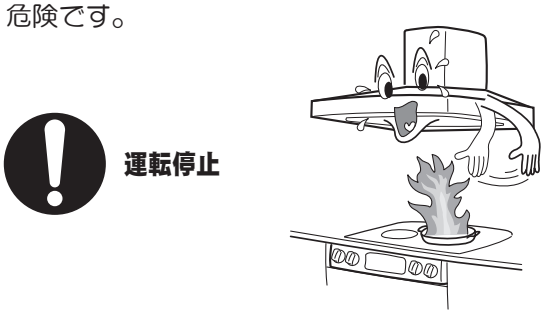


● **運転中は指や物を絶対に入れないこと**
けがをしたり、故障の原因となります。

● **長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフード専用のブレーカーを下げる（電源を切る）こと**
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



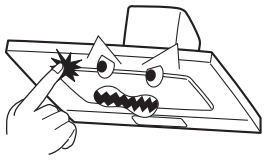
● **調理中、油に火がついたときは運転を止めること**
運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です。



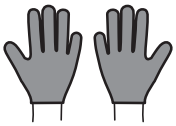
使用上のお願い

⚠ 注　意

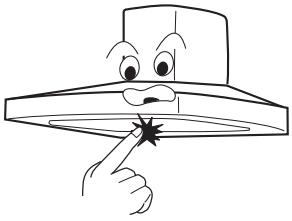
● **運転中は指や物を絶対にいれないこと**
けがをしたり、故障の原因となります。



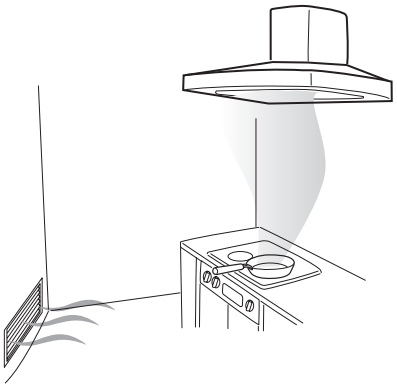
● **お手入れの際は、厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。



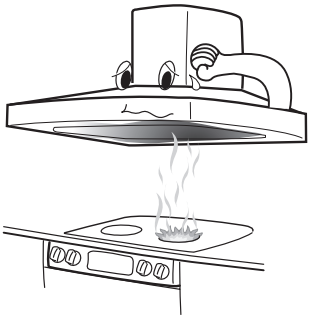
● **調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと**
整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。



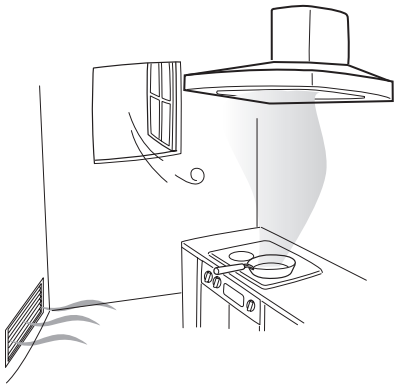
● **調理器具を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください。**
運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります。



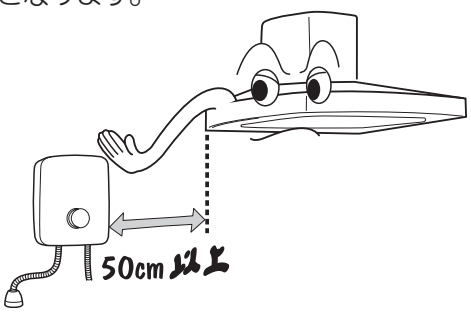
● **調理器具の空焚きは絶対にしないでください。**
製品の損傷や高熱による故障の原因となります。



● **調理中は給気を行ってください。**
レンジフードの反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下します。



● **湯沸器はレンジフードから50cm以上離してください。**
ガス湯沸器周辺はかなり高温になるので50cm以上離してください。
湯沸器の上部には絶対にレンジフードを取り付けないでください。製品の損傷や高熱による故障の原因となります。



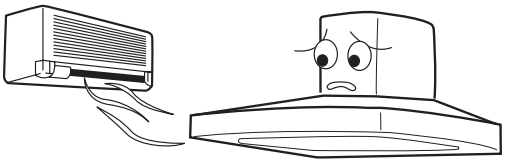
使用上のお願い

● **部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります。**

レンジフード近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください。

● **エアコンの風が直接あたらないようにしてください。**

風を受けると、吸い込みが悪くなります。IHクッキングヒーターは上昇気流がほとんどないため、オープンな場所では特にフードから漏れやすくなります。



● **キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードの表面が結露することがあります。**

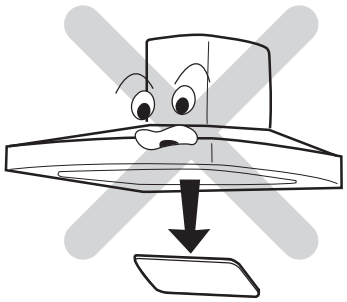
この場合は拭き取って使用してください。

● **グリル付の調理器具と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルもしくは照明カバー表面が結露することがあります。**

この場合は拭き取って使用してください。

● **整流板をはずして使用しないでください。**

吸い込みが悪くなります。

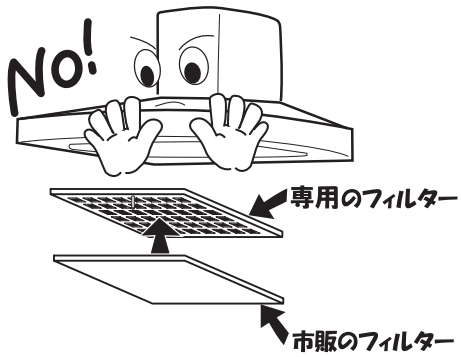


● **フィルターに市販のフィルターを重ねて使用しないでください。**

吸い込みが悪くなったり、異音・振動が発生する場合があります。

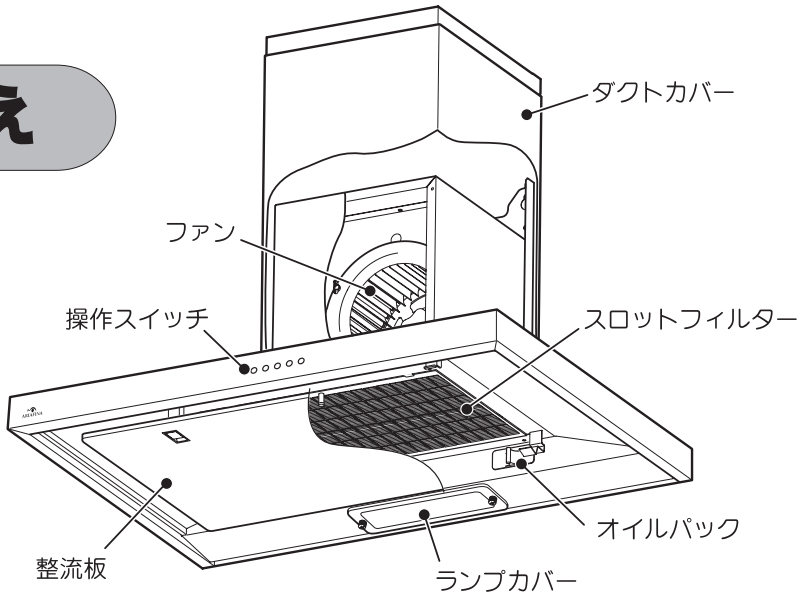
ご注意

● **性能を維持するため、専用のフィルターをご使用ください。**



使いかた

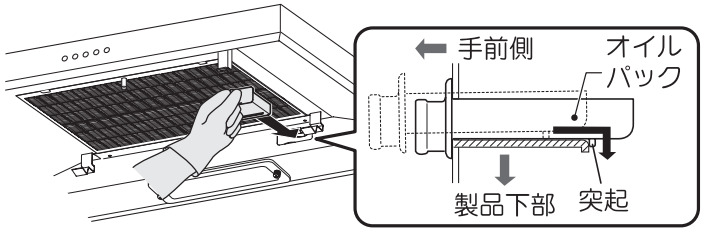
各部のなまえ



ご使用前に

オイルパックが所定の位置に正しくセットされているか確認してください。

※ オイルパックが正しくセットされていないと、油を正しく集められません。
オイルパックのセットの方法は９ページを参照してください。

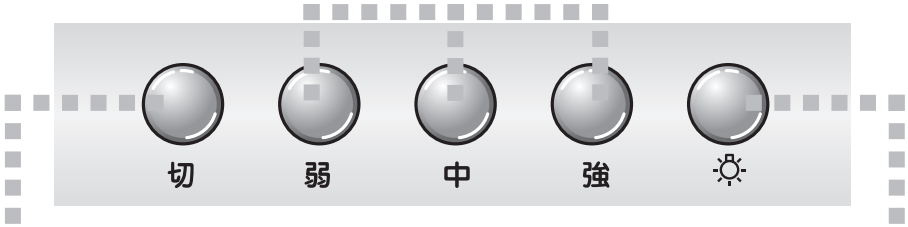


操作スイッチ

運転・風量切替スイッチ

弱 中 強

弱：煙の少ないとき。静かに運転したいとき。
中：通常の運転のとき。
強：煙の多いとき。早く換気したいとき。



切スイッチ

切

通常、調理が終わった後は、切スイッチを押してください。

※ 照明は消えません。照明スイッチを押すと消えます。

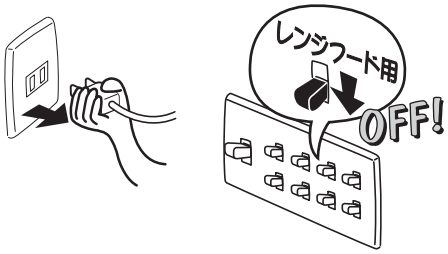
照明入／切スイッチ

押すと照明が点灯します。スイッチを押すたびに点灯／消灯を繰り返します。

お手入れのしかた

⚠ 警　告

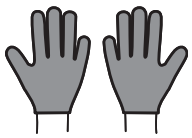
- **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤の専用のブレーカーを下げる（電源を切る）こと（完了後は再び電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。またブレーカーを下げた場合は、ブレーカーを上げて（電源を入れて）ください。）**
- **ぬれた手でスイッチを入／切しないこと**
  感電やけがをすることがあります。



⚠ 注　意

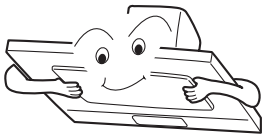
- **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
  鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。

手袋をする



- **整流板や部品の取り付けは確実に行うこと**
  落下によりけがをすることがあります。

取付注意



- 調理直後のレンジフードは熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- こまめにお掃除してください。
  特にフィルターは汚れやすいので１ヶ月に１度程度の頻度でお掃除してください。
  油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
  早めにお掃除いただきますと汚れも簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。
- シンナー、ベンジン、灯油、みがき粉、アルカリ性洗剤などは使用しないでください。ツヤがなくなったり、変色や塗装や操作表示等のはがれの原因になります。
- アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんなどの中性洗剤以外の洗剤のご使用はおやめください。

- ６０℃以上の熱湯やスチーム式洗浄器は使用しないでください。プラスチック部品が変形します。
- スイッチなどの電気部品には直接洗剤などをかけないでください。故障の原因になります。
- スロットフィルターは専用のものをご使用ください。一般市販品をご使用になりますと、通気抵抗が大きくなり、吸い込みが悪くなったり音が大きくなり故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
  また、金属製以外のフィルターをご使用になると火災の原因となるおそれがありますので、これらの使用は絶対にやめてください。

お手入れのしかた

分解のしかた

⚠ 注 意

必ず守る

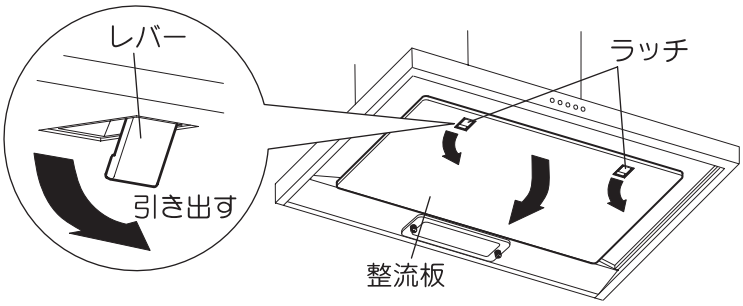
● **整流板を落とさないように両手でしっかりと支えること**

落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります。

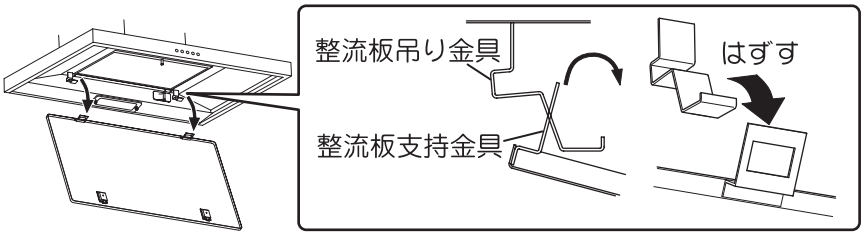
1 整流板をはずします。

① 整流板を両手でしっかりと支えます。（落とさないように注意してください。）

② 左右のラッチのレバーを引き出しながらゆっくりと手前に倒してください。



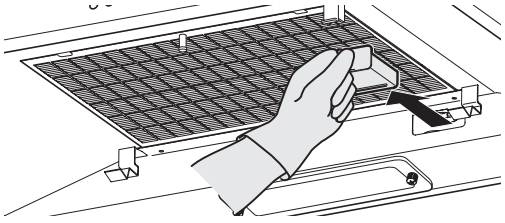
③ 整流板の後ろを持ち上げ、整流板吊り金具から整流板支持金具をはずします。



2 オイルパックをはずします。

ツマミを持ってゆっくり手前に引き出します。

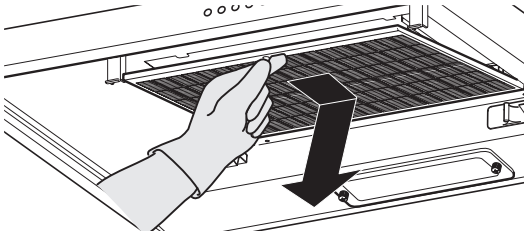
※ 油をこぼさないようにご注意ください。



手前に引き出す

3 スロットフィルターをはずします。

フィルターのつまみを持って後方に押しながらさげると、手前に取りはずせます。



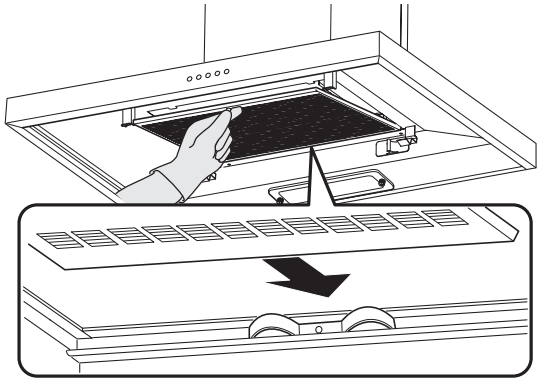
後方に押しながらさげる

お手入れのしかた

組み立てのしかた

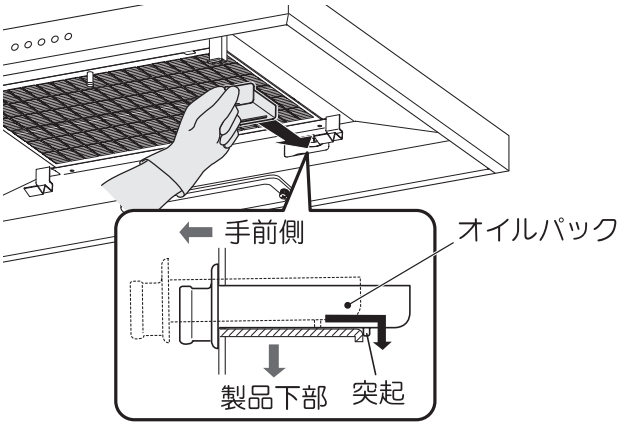
1 スロットフィルターを取り付けます。

スロットフィルター下部を、本体の板バネに押しつけながら取り付けます。



2 オイルパックを取り付けます。

オイルパックを本体のレールに乗せて取り付けます。ツマミを持って少し持ち上げてからオイルパックの前面を奥まで押し込みます。



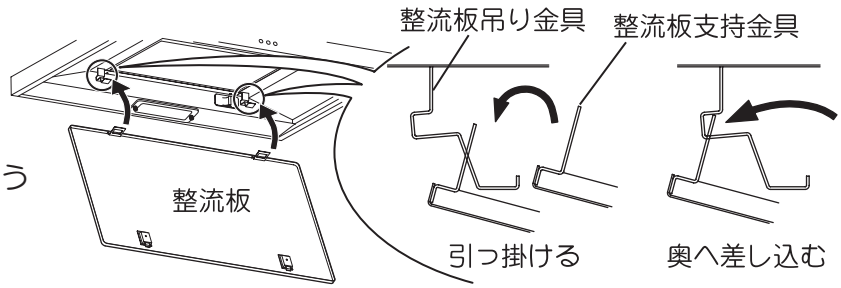
ご注意

オイルパックをはずした後は、ご使用前に必ず本体に取り付けてから運転してください。

※ 正しく取り付けられていないと、油や水滴が滴下したり落下によりけがをすることがあります。

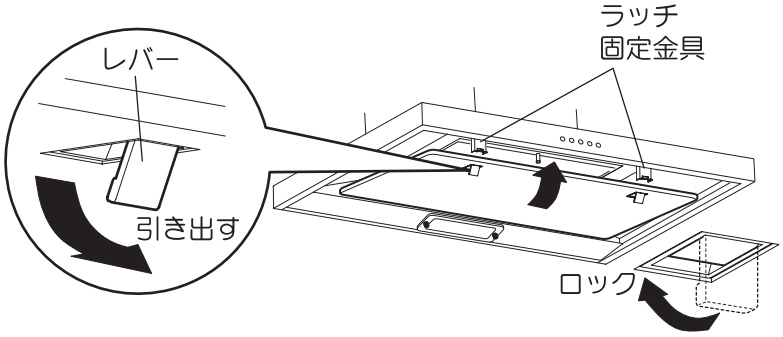
3 整流板を取り付けます。

① 整流板の整流板支持金具を整流板吊り金具に引っ掛け、整流板の後ろを持ち上げるように奥へ差し込んでください。



② 整流板を両手で支えながら先端を上に持ち上げます。左右のラッチのレバーを引き出しながらラッチ固定金具に押し付け、レバーを放すとロックされます。

※ 整流板を軽く上下に動かしてみて、確実に取り付けられたことを確認してください。



ご注意

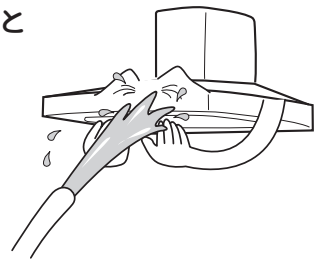
●整流板の固定は確実に行ってください。ロックが不十分ですと落下の原因となります。

お手入れのしかた

⚠ 警 告

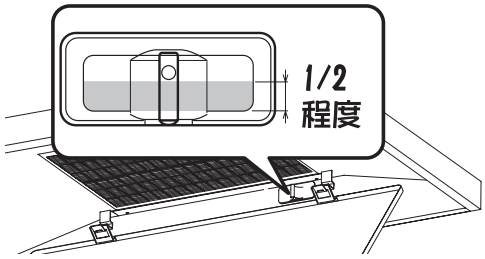
● **電気部品は水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしないこと**
発火したり感電することがあります。

水かけ禁止



ご注意

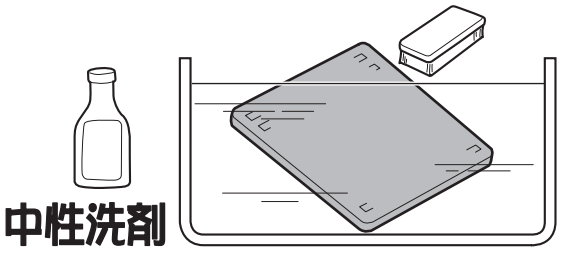
あまり汚れないうちに掃除してください。期間が長くなると、油が固まって汚れが落ちにくくなります。特にフィルター・オイルパック・整流板は、月に１回程度お掃除してください。
オイルパックは前面から油のたまり具合が確認できますので、窓から見て油が 1/2 位たまったら、オイルパックを引き出して油を捨ててください。1/2 以上たまると、オーバーフロー穴より油が漏れるおそれがあります。
※油調理の頻度によっては、短期間では油がたまらない場合もあります（故障や不具合ではありません）。



■ スロットフィルター

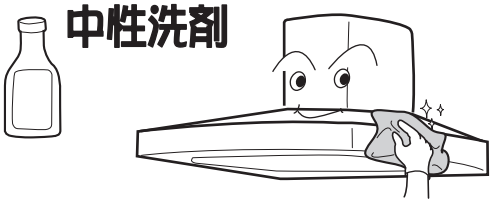
１か月に１回程度、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち金属以外のタワシなどで洗ってください。

汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



■ 本体 ・ 整流板

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふきとったあと、洗剤が残らないよう、清水で湿らせた布で洗剤を良くふきとってください。



■ オイルパック

柔らかい布などで油をふき取ってからぬるま湯で薄めた中性洗剤に浸した柔らかいスポンジや布で洗ってください。金属ブラシやタワシなど、傷の付くもので洗わないでください。

お手入れのしかた

レンジフードを長期にお使いになり、汚れがひどく、ファンをお手入れなさりたい場合は次の手順を参照してお手入れを行ってください。
※ 手を傷つけないために、必ず厚手の手袋をしてください。

⚠ 注 意

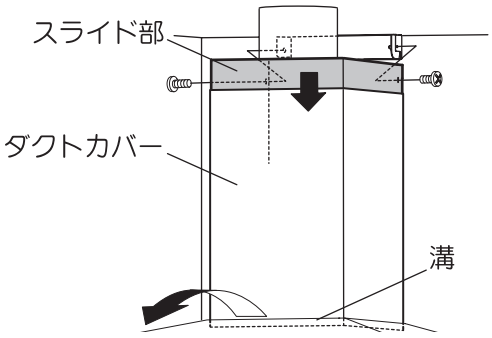
- **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフード専用のブレーカーを下げる（電源を切る）こと**

ファンのお手入れのしかた

ファンのはずしかた

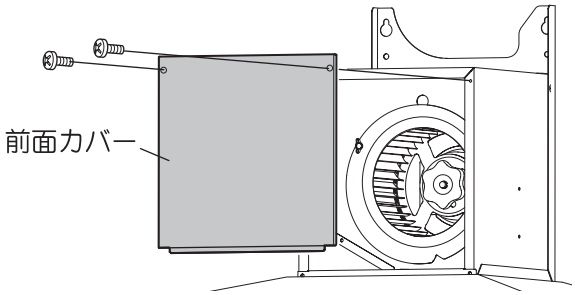
1 ダクトカバーをはずします。

スライド部左右の取付ねじ２本をはずし、スライド部を引き下げます。ダクトカバーを少し持ち上げて、本体の溝からダクトカバーの底部をはずし、手前にゆっくりと取りはずします。



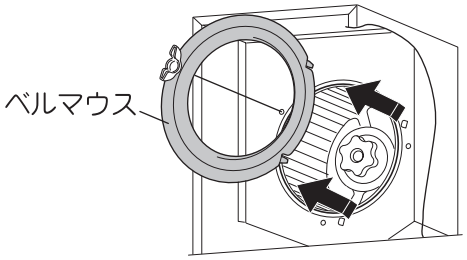
2 ファンケースの前面カバーをはずします。

取付ねじ２本をはずし、前面カバーを取りはずします。



3 ベルマウスをはずします。

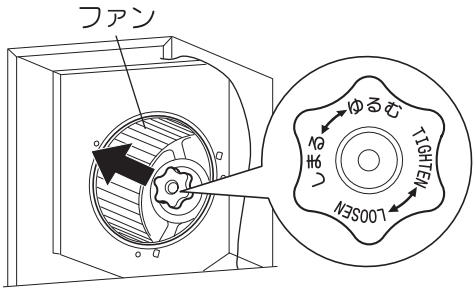
ベルマウスの取付ねじ１か所を手で緩め、右側２か所のツメからスライドさせてベルマウスをはずします。



4 ファンをはずします。

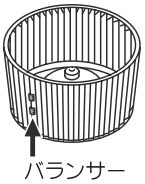
ファンが回らないように軽くおさえながら、ツマミを「ゆるむ」（時計回り）の方向に回してはずします。

※ファンは軽くおさえてください。
強くおさえると変形することがあります。



ご注意

- ファンをぶつけたり、落としたりしないでください。（変形・破損すると、異音の原因となります。）
- ファンの回転バランスをとるために、バランサー（重り）がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。（バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。）



お手入れのしかた

ファンの洗いかた

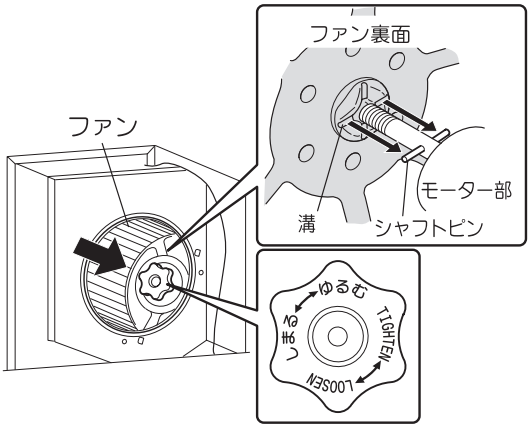
中性洗剤

ファンを本体からはずし、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。

アルカリ性洗剤は使用しないでください。変色します。

汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

ファンの取り付けかた



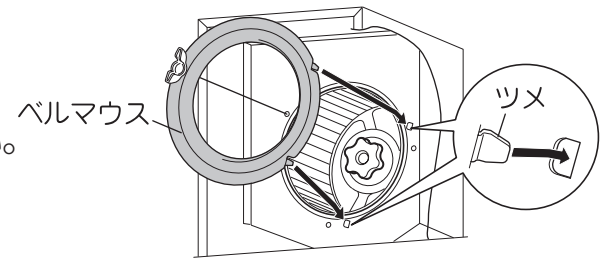
1 ファンを取り付けます。

ファンをモーター軸の根元まで差し込んでください。

2 ツマミを取り付けます。

ファンが回らないように軽くおさえながら、ツマミを「しまる」（反時計回り）の方向に回して締め付けてください。

※ファンは軽くおさえてください。
強くおさえると変形することがあります。



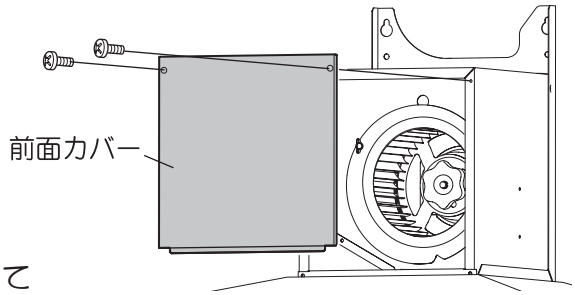
3 ベルマウスを取り付けます。

① ベルマウスのツメ部２か所を引っ掛けたあと、取付ねじ１か所を締め付けて固定してください。

② ベルマウスを取り付けてから、ファンを手で回してこすれ音などがないことを確認してください。

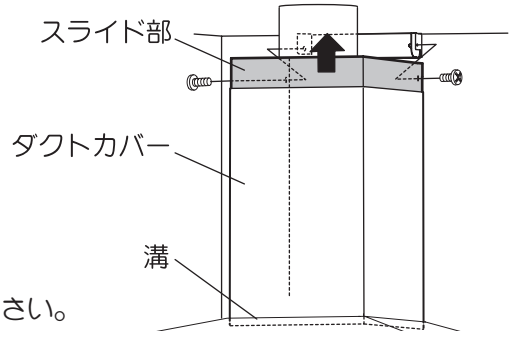
ご注意

●ファン・ベルマウスは確実に取り付けてください。
（異音や破損の原因となります。）



4 ファンケースの前面カバーを取り付けます。

上部２か所のねじ穴を合わせ、取付ねじを締め付けてください。



5 ダクトカバーを取り付けます。

ダクトカバーの底部をを本体の溝にセットし、内側のスライド部を引き上げます。取付ねじ２本で左右から締め付けてください。

※完了後は再び電源プラグを差し込んでください。
または分電盤の専用のブレーカーを上げて（電源を入れて）ください。

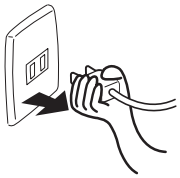
お手入れのしかた

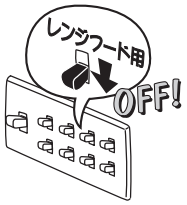
ランプ交換のしかた

ご使用のランプが切れたときは、市販の**ミニ電球（定格100Ｖ40W・口金径17ｍｍ）**を購入し交換してください。

⚠ 警 告

● **ランプ交換の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のレンジフード専用のブレーカーを下げる（電源を切る）こと**





● **ぬれた手でスイッチを入／切しないこと**
感電のおそれがあります。

● **ランプの交換は、ランプカバーやランプが冷めた状態で行うこと**
使用直後に行うと、やけどの原因となります。

⚠ 注 意

禁止

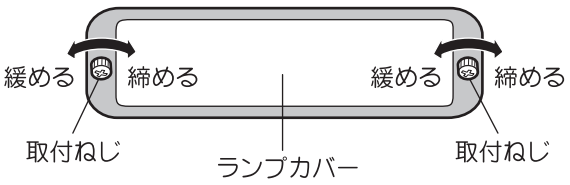
● **ランプカバー以外の場所をさわらないこと**
けがや故障の原因となります。

必ず守る

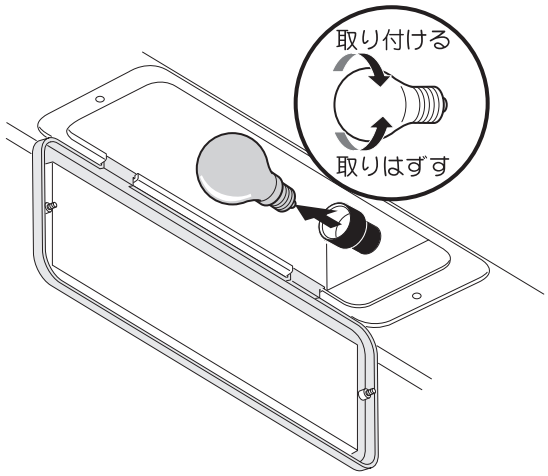
● **必ず４０W以下のランプを使用すること**
やけどのおそれがあります。
発熱による故障の原因となります。

● **鋼板の切り口や角でけがをしないように厚手の手袋をすること**

1 ２本のランプカバー取付ねじを緩め、ランプカバーを開けます。



2 切れたランプを取りはずし、ソケットに新しいランプを確実に固定します。

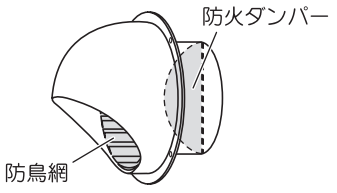


3 ２本の取付ねじを締め付けてランプカバーを固定します。

※完了後は再び電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。またブレーカーを下げた場合は、ブレーカーを上げて（電源を入れて）ください。

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに　次の点をもう１度お調べください。

症　状	考えられる原因	処　置
●スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。 ●ファンがまわらない。	●分電盤のブレーカーが下がって(電源が切れて)いる。 ●電源プラグがはずれている。	●分電盤のブレーカーを上げる（電源を入れる)。 ●電源プラグを差し込む。
●照明がつかない。	●ランプが切れている。 ●ランプの取り付けが緩んでいる。	●ランプの交換をする。 ●ランプを取り付け直す。(13ページ参照)
●異常音がする。	●ファンのツマミが緩んでいる。 ●ベルマウスの固定ねじが緩んでいる。 ●フィルターが汚れている。 ●給気が十分でない。	●ファンのツマミを締め直す。(12ページ参照) ●ベルマウスの固定ねじを締め直す。(12ページ参照) ●フィルターを掃除する。(10ページ参照) ●十分な給気を確保する。
●吸い込みが悪い。	●フィルターが汚れて目詰まりしている。 ●給気が十分でない。 ●エアコンや窓からの風があたっている。 ●屋外のベンドキャップの防鳥網が目詰まりしている。 ●屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。 	●フィルターを掃除する。(10ページ参照) ●十分な給気を確保する。 ●風があたらないようにする。 ●防鳥網を掃除する。 ●修理を依頼する。

仕　様

定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m³/h)		騒音 (dB)	製品質量 (kg)
				0 Pa時	100 Pa時		
100	強	50	95	540	435	46	22. 0
		60	110	520	450	46	
	中	50	65	370	—	39	
		60	67	320	—	35	
	弱	50	35	190	—	24	
		60	34	170	—	22	

消費電力、風量、騒音の測定はJIS C9603による。

レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

アフターサービス（必ずお読みください）

補修用性能部品の最低保有期間

● 当社は、このレンジフードファンの補修用性能部品を製造打切り後６年間保有しています。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

● 製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において１年間です。
ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
(1) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
(2) 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

修理料金の仕組み

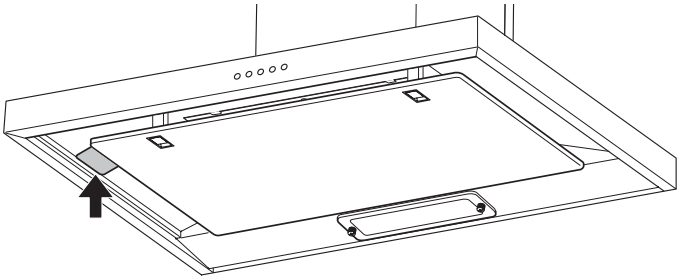
- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張費は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼されるときは

14ページに従ってお調べいただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品　名	レンジフード
型　名	
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

レンジフードの型名は、本体の内側
左側面に表示してあります。



愛情点検

★長年ご使用の換気扇の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	● スイッチを入れても、動かないときがある。 ● 運転中に異常な音や振動がある。 ● 焦げ臭いにおいがする。 ● その他、異常・故障がある。

▶

ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1．当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
　なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2．当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3．お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　**電話　（　）**

ご購入年月日　　**平成　　年　月　日**

〔製造元〕富士工業株式会社

〒229-0006　相模原市渕野辺２丁目１番９号
お客様ご相談窓口　0120−071−686
受付時間　9:00～18:00
（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）